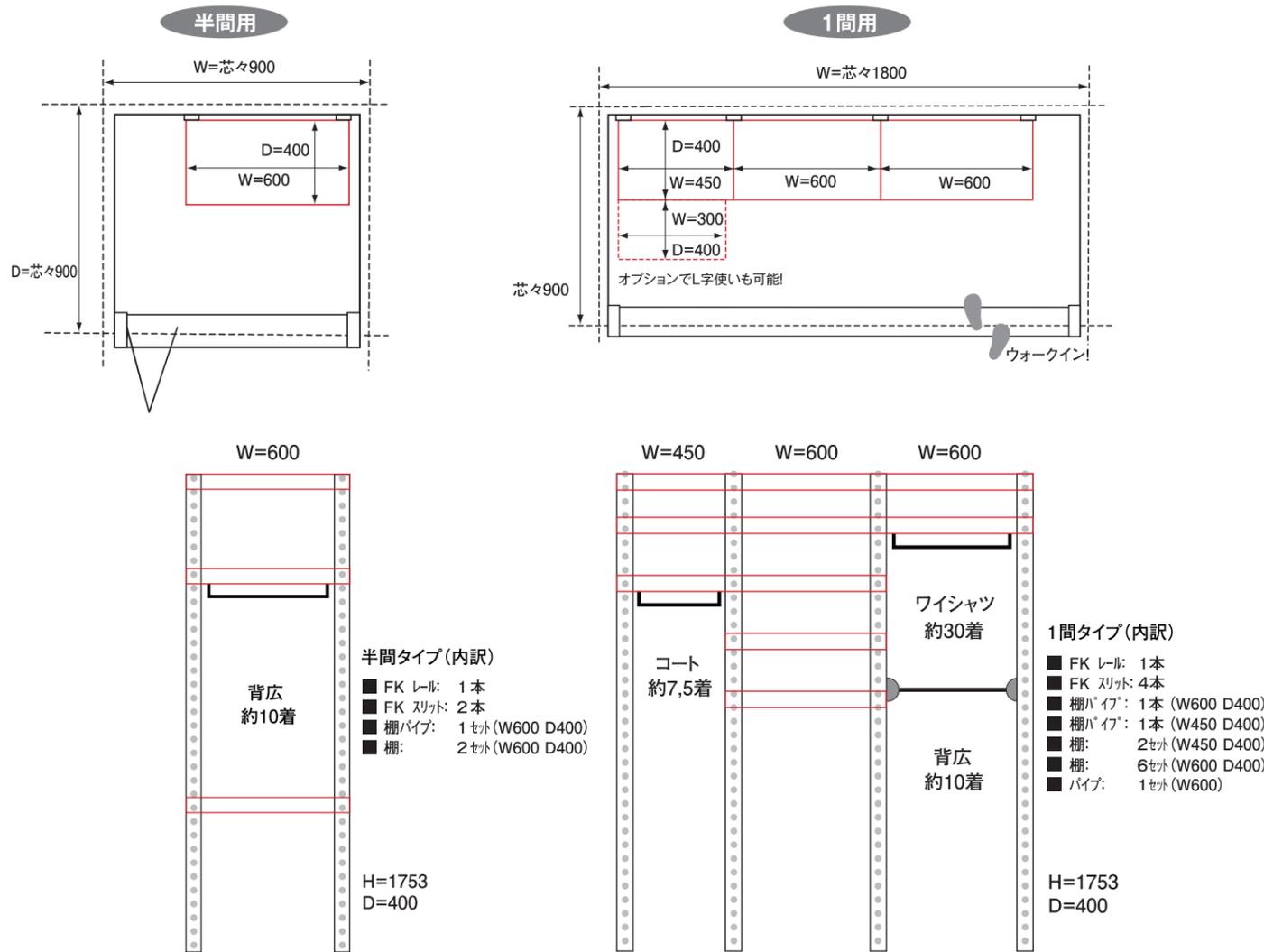


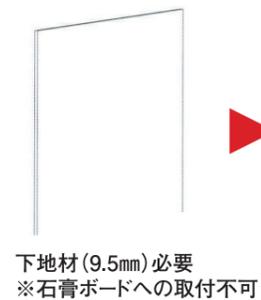
推奨基本プラン 使いやすいおすすめの基本プランです。この他にもご希望により組み合わせ可能です。



■設置方法 FKレールとFKスリットを用いることにより、取付けの手間を少なくし、簡単に取付けることができます。

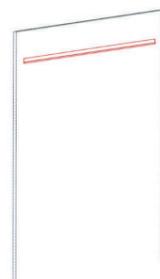
STEP0

壁の下地を確認する
(壁の補強をする)



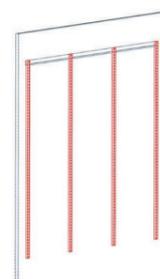
STEP1

FKレールをビスで固定する



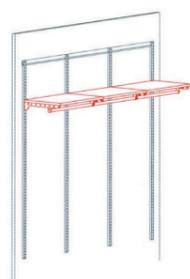
STEP2

FKスリットをビスで固定



STEP3

棚やパイプを必要に応じて、スリットの穴へはめ込む(工具不要)



POINT
シンプル施工で
工期も短縮

組立取付け
目安時間
1間サイズで
約30分~1時間

Raku-Rack ^{ラク}楽ラック



山田ダンボール株式会社

本社 / 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1-9-4 Daiwa日本橋本町ビル
TEL.03-3241-7176 FAX.03-3241-7690

URL <http://www.yamada-cc.co.jp/>

製造元：株式会社 藤山

※製品カタログ及び納入時の取扱説明書は、株式会社藤山「フィットラック」を代用しております。

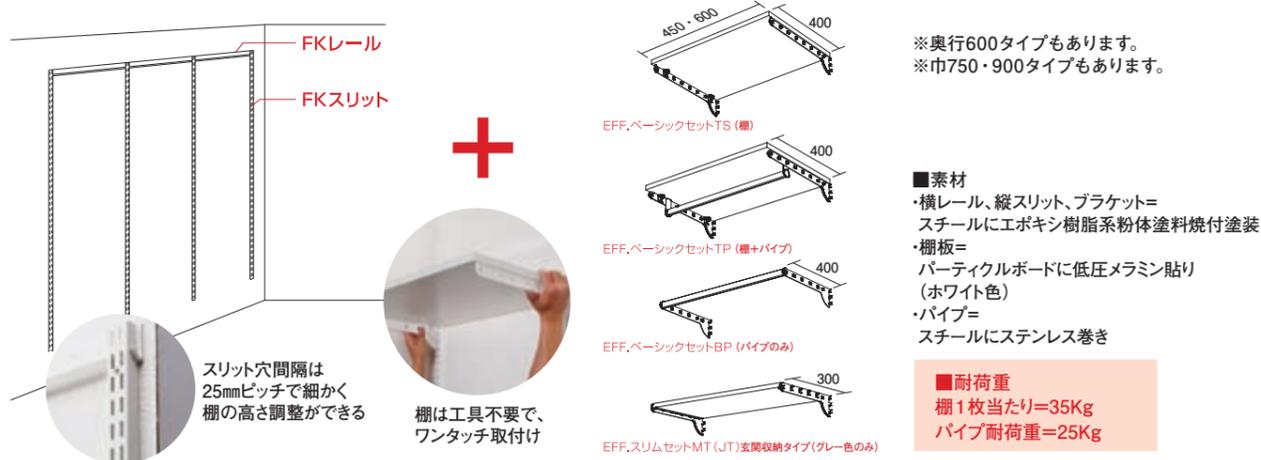
楽ラックの特徴

1. 後ろ壁を使い、壁面すべて収納スペースを実現

楽ラックは強度補強された壁(壁面下地に9.5mmコンパネが必要)があれば施工できます。壁の内側に箱状のものを入れたり、ボックスを連結したりする箱もの収納ではありません。後ろの壁さえあれば、袖壁や床固定・天井固定なども不要で、建物による制限をまったく受けません。現場で簡単に組み立て施工ができ、時間も1間サイズで30分~1時間(下地補強済みの場合)です。建具を組み合わせることで、見せる収納も、隠す収納も選ぶことができます。

2. シンプルなパーツで、簡易な組み合わせ

横レールと縦スリットを壁に固定し、縦スリットの穴に棚をはめていく、簡単な方式です。家具収納に比べ、シンプルなパーツ構成でリーズナブルなコスト(材料費・施工費)を実現しました。将来的にパーツを増やすことも可能です。



3. 収納物に合わせてタテ・ヨコ自由自在

従来の収納

開口
家具を組み合わせるため開口が狭く狭くなってしまおう。

収納部分
ユニット化されたボックスを組み合わせるためヨコ巾が制限される。(例:ダボ式の棚板)

収納部分
棚やパイプが固定されているため、高さが制限される

楽ラック

開口
広い収納スペースをそのままに、広い開口を実現。

収納部分(ヨコ)
ヨコ巾の制限がなくなり、フラットなスペースを実現。横長のものでも楽に収納可能。

収納部分(タテ)
高さの制限がなくなり、衣服の収納力が倍増。また、棚板とハンガーパイプの隙間が小さくなり、効率的な収納が可能に。

選べる建具タイプ

引戸
Hi-Line
Slim Line
Danfusuma

開戸
Hi-Line F
Danfusuma

折戸
Ore-do V

家具収納と造作収納の弱点を克服。収納スペースをタテ、ヨコ最大限に活用することができます。

楽ラック施工例



<押入リフォームの新提案>

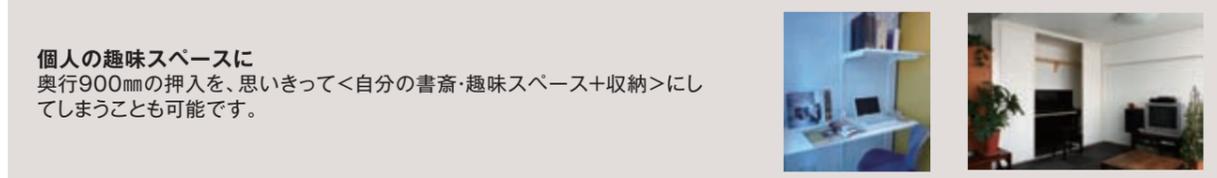
使いづらい奥行900mmの押入れを、使いやすい収納スペースに天袋と押入の中段をとりやめ、内部をクロス貼りにして「楽ラック」を施置。天地丈の背高フスマは軽い操作性です。

900mm

天袋+押入(中段)
和室

楽ラック

ワークイン
和室



部屋を広くする

使いづらい奥行900mmの押入スペースを、奥行600mmに変更。そして「楽ラック」を施置すると使いやすく、部屋も広くなります。

900mm

和室

600mm

洋室

300mm広くなる